

## 第15章 準備書記載事項の修正の概要

準備書に対する経済産業大臣の勧告（令和5年11月14日 20230227保第6号）、環境大臣の意見及び岡山県知事の意見等を踏まえ、準備書の記載内容の見直しを行い、その記載事項を修正した。修正の概要は表15-1に示すとおりである。

表 15-1 (1) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由		
第2章 対象事業の目的及び内容 2.1 対象事業の目的	2-1(3)	対象事業の目的において、「おかやま新エネルギービジョン」は令和4年度で計画期間が終了し、現在は「岡山県地球温暖化対策実行計画」に統合されたことを記載した。	より適切な記載とした。		
		対象事業の目的において、生物多様性を重視して自然環境を保全することを追記した。	より適切な記載とした。		
2.2 対象事業の内容 2.2.3 特定対象事業により設置される発電所の出力	2-2(4)	発電所の出力等の数値を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。		
2.2.4 対象事業実施区域 (1) 対象事業実施区域の位置	2-4(6)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。		
2.2.5 特定対象事業の主要設備の配置計画その他の土地利用に関する事項 (1) 主要設備の配置計画	2-8(10)	変更区域の変更に伴い、主要設備の配置計画を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。		
(2) 調整池 (a) 調整池の諸元等	2-9(11)	新たに公開、改定された情報に基づき、調整池の諸元、集水域図、調整池一般図、調整池断面図を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。		
	2-11(13)～ 2-21(23)				
	2-9(11)			調整池容量及び堆積土砂量については、「岡山県林地開発許可申請の手引(令和5年、岡山県農林水産部治山課)」に基づき設定したことを追記した。	より適切な記載とした。
	2-10(12)			調整池別工事内容を追記した。	より適切な記載とした。
(b) オリフィス・放流管の設定根拠について	2-10(12)	オリフィス・放流管の設定根拠を追記した。	より適切な記載とした。		
2.2.6 工事の実施に係る工法、期間及び工程計画に関する事項 (2) 主要な工事の方法及び規模	2-23(25)	「表2.2.6-2 主要な工事内容」内の電気設備工事について、パワーコンディショナーから変電所までは道路横断がないことから、道路を交差する記述を削除した。	より適切な記載とした。		
2.2.6 工事の実施に係る工法、期間及び工程計画に関する事項 (6) 土地使用面積	2-26(28)	対象事業実施区域の変更前の土地使用面積を追記した。	より適切な記載とした。		
	2-26(28)～ 2-27(29)	変更区域の変更に伴い、土地使用面積及び土地使用計画図を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。		

表 15-1 (2) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(8) 工事中の排水に関する事項 (a) 雨水排水について	2-28 (30)	緑化対策について、基本的には在来種、地域の固有種を用いる予定であることを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
	2-30 (32)～ 2-34 (36) 2-37 (39)	変更区域の変更に伴い、排水計画図と排水流域図を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	2-30 (32)	排水計画図について、切土・盛土計画平面図を重ね合わせたものに修正した。	より適切な記載とした。
	2-31 (33)～ 2-34 (36)	排水計画図について、「U型水路(300×300mm)」、「幹線水路(U型水路)」、「小段排水溝」、「縦排水溝」の設置予定箇所が分かるよう、拡大図を追加した。	より適切な記載とした。
	2-35 (37)～ 2-36 (38)	土砂流出防止柵の位置図及び構造図を追加した。	より適切な記載とした。
2.2.7 切土、盛土その他の土地の造成に関する事項 (1) 土地の造成の方法及び規模	2-38 (40)	土工定規図を追加した。	より適切な記載とした。
	2-39 (41)～ 2-41 (43)	変更区域の変更に伴い、切土・盛土計画平面図、切土・盛土計画断面図を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	2-39 (41)	切土・盛土計画平面図について、造成後の対象事業実施区域の平坦な部分と傾斜のある部分が分かるよう修正した。	より適切な記載とした。
	2-40 (42)～ 2-41 (43)	切土盛土計画断面図について、対象事業実施区域の末端まで含むよう表示範囲を修正した。	より適切な記載とした。
(2) 切土、盛土に関する事項	2-42 (44)	調整池以外の池について、変更時及び変更後の排水処理の内容を追記した。	より適切な記載とした。
		浚渫土及び残土の処理について追記した。土量集計表に浚渫土を追記した。	より適切な記載とした。
		土量集計表に、切土・盛土部分の面積を追記した。	より適切な記載とした。
		変更区域の変更に伴い、土量集計表を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(3) 樹木伐採の場所及び規模	2-43 (45)	変更区域の変更に伴い、植生の変更面積及び図面を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	2-44 (46)		
(4) 工事に伴う産業廃棄物の種類及び量	2-45 (47)	変更区域の変更に伴い、廃棄物の発生量及び有効利用量を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
		廃棄物の処分方法等(予定)を修正した。	より適切な記載とした。
2.2.9 供用開始後の定常状態における操業規模に関する事項 (1) 発電所の主要設備の概要	2-46 (48)～ 2-48 (50)	施設の設備諸元及び施設の設置位置図、太陽光パネルの概要を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。

表 15-1 (3) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(2) 供用計画	2-53 (55)	調整池付近に仮置きする浚渫土について、利用しきれなかった分の保管方法を追記した。	より適切な記載とした。
		残土に有害物質等が含まれる場合及び浚渫土がヘドロ状の汚泥である場合は、産業廃棄物として適正に処理することを追記した。	より適切な記載とした。
		リモートカメラ及びサーマルカメラによる監視システムを設置し、太陽光発電所の状況を常に監視できる体制を構築することを追記した。	より適切な記載とした。
		太陽光パネルの洗浄の方法を追記した。	より適切な記載とした。
		パネルの管理について、農薬を使用せず人手による草刈りを予定していることを追記した。	より適切な記載とした。
		地震発生時、豪雨時の巡視実施基準は供用開始までに決めることを追記した。	より適切な記載とした。
(5) 送電計画	2-54 (56)	送電計画について、会社名を修正した。	より適切な記載とした。
2.2.10 その他 (2) 削減が期待される温室ガス排出量	2-54 (56)	削減が期待される温室ガス排出量を追記した。	より適切な記載とした。
(4) 地元への貢献内容について	2-55 (57)	地元への貢献内容を追記した。	より適切な記載とした。
第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況 3.1 自然的状況 3.1.5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (1) 動物の生息の状況	3-32 (90)	「表 3.1.5-7 両生類の重要な種」の選定基準において、種の保存法に関して記載漏れがあったため追記した。	より適切な記載とした。
(b) 植生	3-42 (100)～ 3-43 (101)	現存植生図に改変区域を追加した。	より適切な記載とした。
(3) 生態系の状況 (c) 重要な自然環境のまとまりの場	3-57 (115)～ 3-58 (116)	対象事業実施区域内の保安林(国有林、民有林別)と改変区域を重ね合わせた図面を提示した。	より適切な記載とした。
3.2 社会的状況 3.2.8 環境の保全を目的として法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の環境の保全に関する施策の内容 (1) 公害関係法令等 b. 規制基準等 ⑤水質汚濁	3-111 (169)	「瀬戸内海環境保全特別措置法」による汚濁負荷量の総量規制基準について、法改正により規定が削除されたため、本文中の該当箇所を削除した。	より適切な記載とした。
		瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく許可又は届出が必要となる特定施事業場は設置しないことを明記した。	より適切な記載とした。
(4) その他の環境保全計画 (a) 岡山県の環境政策 ②岡山県地球温暖化対策実行計画	3-134 (192)	「②岡山県地球温暖化対策実行計画」を追記した。	より適切な記載とした。

表 15-1 (4) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
第10章 対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法 10.2 調査、予測及び評価の手法の選定 10.2.1 調査、予測及び評価の手法 (1)大気質、(2)騒音、(3)振動、(4)水質、(5)地盤(土地の安定性)、(6)反射光、(7)動物、(8)植物、(9)生態系、(10)景観、(11)人と自然との触れ合いの活動の場	10-8(326) 10-9(327) 10-14(332) 10-22(340) 10-23(341) 10-26(344) 10-28(346) 10-33(351) 10-34(352) 10-38(356) 10-57(375) 10-62(380) 10-70(388) 10-74(392)	【文献その他の資料調査】の調査期間について、実際に調査を行った期間(2022年1月~12月)を記載した。	より適切な記載とした。
(1)大気質	10-10(328) 10-12(330)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
	10-11(329)~ 10-12(330)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(2)騒音	10-16(334) 10-18(336) 10-20(338)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
	10-19(337) 10-20(338)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(3)振動	10-24(342)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
(4)水質	10-26(344) 10-28(346)	放流先河川(WP05、WP06、WP07)において完全混合モデルによる予測を行ったことを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
	10-29(347)	調査地点 WP05 の設定根拠の記載に誤りがあったため、正しい内容に修正した。	より適切な記載とした。
	10-30(348) 10-32(350)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(5)地盤	10-33(351)	「6 予測の基本的な手法」に計算を行わない理由を追記した。	より適切な記載とした。
(6)反射光	10-36(354)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(7)動物	10-44(362)~ 10-55(373)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	10-52(370) 10-53(371)	希少猛禽類調査について、調査地点ごとの地上視野と視野範囲が分かる図面を提示した。	より適切な記載とした。
(8)植物	10-58(376) 10-59(377)	ガマ・ヤマトミクリ群落を「ガマ・キンキカサスゲ群落等」と「ヤマトミクリ・ミクリ群落」に細分化した。	より適切な記載とした。
	10-60(378) 10-61(379)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。

表 15-1 (5) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(9) 生態系	10-66(384) 10-67(385)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(10) 景観	10-72(390)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(11) 人と自然との触れ合いの活動の場	10-76(394)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
10.2.3 専門家等へのヒアリング	10-85(403)	生態系の予測評価及び事後調査に関するヒアリング結果を追記した。	より適切な記載とした。
第12章 環境影響評価の結果 12.1 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果 12.1.1 大気環境 (1) 大気質(粉じん等) (a) 調査結果の概要 ① 気象の状況(風向・風速) 2) 現地調査 a. 工事用資材等の搬出入 イ) 調査地点	12.1.1-2(408)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(b) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施 2) 建設機械の稼働 a. 降下ばいじん量の予測 イ) 予測地点	12.1.1-26(432)～ 12.1.1-27(433)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
エ) 予測手法 a) 計算式 i. 一日当たりの降下ばいじん量の算出式 ii. 風向別降下ばいじん量の算出式 iii. 季節別降下ばいじん量	12.1.1-29(435)～ 12.1.1-30(436)	降下ばいじん量の予測式に誤りがあったため、正しい予測式に修正した。	より適切な記載とした。
オ) 予測結果	12.1.1-33(439)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
(2) 騒音 (a) 調査結果の概要 ① 道路交通騒音の状況 2) 現地調査 b. 調査地点	12.1.1-36(442)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(b) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施 2) 建設機械の稼働 a. 騒音の予測 イ) 予測地点	12.1.1-48(454)～ 12.1.1-49(455)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
エ) 予測手法 b) 予測条件 iii. 防音壁の位置 オ) 予測結果	12.1.1-54(460)～ 12.1.1-55(461)	防音壁の設置個所と範囲が分かる図面、建設機械の稼働に伴う騒音の予測結果の断面図を追加した。 防音壁の設置範囲について、最新の内容を図面に反映した。また、それに伴い、防音壁を設置した場合の騒音レベル予測結果も修正した。	岡山県知事意見を踏まえて修正した。 より適切な記載とした。

表 15-1 (6) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
わ) 予測結果	12. 1. 1-55(461)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
②土地又は工作物の存在及び供用	12. 1. 1-57(463)～ 12. 1. 1-58(464)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
1) 施設の稼働 a. 騒音の予測 イ) 予測地点	12. 1. 1-58(464)	予測地点から最も近い騒音発生設備までの距離を追記した。	より適切な記載とした。
a. 騒音の予測 エ) 予測手法 b) 予測条件 わ) 予測結果	12. 1. 1-59(465)～ 12. 1. 1-62(468)	パワーコンディショナーの1/3オクターブ分析結果を用いて予測計算を行った。	より適切な記載とした。
わ) 予測結果	12. 1. 1-61(467)～ 12. 1. 1-62(468)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
b. 評価 ウ) 評価結果	12. 1. 1-63(469)	パワーコンディショナーの1/3オクターブ分析結果を用いて評価を行った。	より適切な記載とした。
(3) 振動 (b) 予測及び評価の結果 ①工事の実施 2) 建設機械の稼働 イ) 予測地点	12. 1. 1-75(481)～ 12. 1. 1-76(482)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
①工事の実施 2) 建設機械の稼働 イ) 予測地点	12. 1. 1-76(482)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
わ) 予測結果	12. 1. 1-80(486)	調査地点との混同を避けるため、予測地点の名称を変更した。	より適切な記載とした。
12. 1. 2 水環境 (1) 水質 (水の濁り) (a) 調査結果の概要 ①浮遊物質量等の状況 2) 現地調査 b. 調査地点	12. 1. 2-2(490)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(b) 予測及び評価の結果 ①工事の実施 1) 造成等の施工による一時的な影響 a. 浮遊物質量濃度の予測 イ) 予測地点 エ) 予測手法	12. 1. 2-9(497)～ 12. 1. 2-11(499)	放流先河川 (WP05、WP06、WP07) においても予測を行ったことを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
エ) 予測手法 b) 流域面積及び調整池条件	12. 1. 2-13(501)	流域面積等の数値を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
c) 降雨強度	12. 1. 2-14(502) 12. 1. 2-16(504)	過去の日常的な降雨の総降雨量の状況を追記した。	より適切な記載とした。
d) 流出係数	12. 1. 2-18(506)	流出係数を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
f) 滞留時間	10. 1. 2-19(507)	各調整池が満水になるのに必要な降雨量の計算式を追記した。	より適切な記載とした。
i) 放流先河川における浮遊物質量濃度及び流量の設定 j) 放流先河川における濁水中の浮遊物質量	12. 1. 2-21(509)	放流先河川における予測条件を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。

表 15-1 (7) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
わ) 予測結果	12. 1. 2-22(510)	「表 12. 1. 2-19 各調整池の濁水流入量の予測結果」において、調整池容量及び濁水流入量を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
		「表 12. 1. 2-19 各調整池の濁水流入量の予測結果」において、調整池 A-1 の「局所的な強雨 54mm/h」における濁水流入量の数値に誤りがあったため修正した。	より適切な記載とした。
		「表 12. 1. 2-19 各調整池の濁水流入量の予測結果」に、調整池 A-1 と調整池 A-2 の合計流入量を追記した。	より適切な記載とした。
	12. 1. 2-22(510)～ 12. 1. 2-23(511)	調整池が満水となる降雨量の予測結果を追記し、より定量的に予測を行った。	より適切な記載とした。
	12. 1. 2-23(511)～ 12. 1. 2-24(512)	浮遊物質量濃度の予測結果を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	12. 1. 2-25(513)	放流先河川の WP05～07 における予測結果を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
b. 評価 イ) 環境保全措置	12. 1. 2-26(514)	緑化対策を行う環境保全措置について、在来種による植栽等を検討することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
う) 評価結果	12. 1. 2-27(515)～ 12. 1. 2-28(516)	評価結果を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
		調整池が満水となる降雨量に関する評価内容を追記した。	より適切な記載とした。
		放流先河川の WP05～07 における評価結果を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
2) 地形改変及び施設の有存在 a. 浮遊物質量濃度の予測 エ) 予測手法 d) 流出係数	12. 1. 2-30(518)～ 12. 1. 2-31(519)	流出係数について、改変区域の太陽光パネルエリアは 1.00、法面及び造成森林は 0.60、路面は 1.00 に設定し、非改変区域(山地・森林、草地)は 0.60 に設定した。	より適切な記載とした。
	12. 1. 2-31(519)	「表 12. 1. 2-23 流域における各土地条件の面積比及び流出係数(供用開始後)」内における、調整池 B の WS01、WS02 の面積比について、「表 12. 1. 2-16 流域における各土地条件の面積比及び流出係数(工事中)」内の値と一致するよう修正した。	より適切な記載とした。

表 15-1 (8) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
i) 放流先河川における浮遊物質量濃度及び流量の設定 j) 放流先河川における濁水中の浮遊物質量	12. 1. 2-32(520)	放流先河川における予測条件を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
わ) 予測結果	12. 1. 2-33(521)	「表 12. 1. 2-24 各調整池の濁水流入量の予測結果」において、調整池容量及び濁水流入量を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
		「表 12. 1. 2-24 各調整池の濁水流入量の予測結果」に、調整池 A-1 と調整池 A-2 の合計流入量を追記した。	より適切な記載とした。
	12. 1. 2-33(521)～ 12. 1. 2-34(522)	調整池が満水となる降雨量の予測結果を追記し、より定量的に予測を行った。	より適切な記載とした。
	12. 1. 2-34(522)～ 12. 1. 2-35(523)	浮遊物質量濃度の予測結果を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
b. 評価 ウ) 評価結果	12. 1. 2-38(526)～ 12. 1. 2-39(527)	放流先河川の WP05～07 における予測結果を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
		調整池が満水となる降雨量に関する評価内容を追記した。	より適切な記載とした。
12. 1. 3 その他の環境 (1) 地盤(土地の安定性) (a) 調査結果の概要 ① 土地の安定性の状況 2) 現地調査 e. 調査結果 ア) 地形	12. 1. 3-3(531)	放流先河川の WP05～07 における評価結果を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
		変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
ウ) 対象事業実施区域の地盤状況等	12. 1. 3-26(554)	地下水の状況について追記した。	より適切な記載とした。
(b) 予測地域予測及び評価の結果 ① 土地の安定性の状況 1) 地形変更及び施設の有無 a. 予測 ウ) 予測手法	12. 1. 3-27(555)	「岡山県土保条例の手引き」における技術基準について、詳細な内容を追記した。	より適切な記載とした。
エ) 予測結果 a) 対象事業実施区域と地形分類図、重要な地形、土砂災害特別警戒区域等との重ね合わせ	12. 1. 3-29(557)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	12. 1. 3-30(558)		
	12. 1. 3-32(560)	変更区域と土石流危険渓流及び崩壊土砂流出危険区域が重複している箇所について、詳細な予測結果、拡大図及び断面図を追記した。	より適切な記載とした。
	12. 1. 3-28(556) 12. 1. 3-31(559) 12. 1. 3-33(561) 12. 1. 3-34(562)		
b) 対象事業実施区域と傾斜区分図、切土、盛土範囲の重ね合わせ及び技術基準等との比較	12. 1. 3-35(563)	設置パネル面積の割合を接地面の傾斜度ごとに分けて整理した表を追記した。	より適切な記載とした。
	12. 1. 3-37(565)～ 12. 1. 3-38(566)	切土盛土計画断面図について、対象事業実施区域の末端まで含むよう表示範囲を修正した。	より適切な記載とした。



表 15-1 (9) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
	12. 1. 3-39(567)	パネルエリアと傾斜区分図の重ね合わせ図において、傾斜区分図を造成後のものに修正した。	より適切な記載とした。
b. 評価 イ) 環境保全措置	12. 1. 3-41(569)	緑化対策を行う環境保全措置について、在来種による植栽等を検討することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
(2) 反射光 (a) 調査の概要 ①土地利用の状況 2) 現地調査 a. 調査地域 d. 調査結果	12. 1. 3-43(571)～ 12. 1. 3-46(574)	変更区域及び可視領域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
②地形の状況 1) 文献その他の資料調査 c. 調査結果	12. 1. 3-48(576)	標高区分図について、縮尺を1:25,000に修正した。	より適切な記載とした。
(b) 予測及び評価の結果 ①土地又は工作物の存在及び供用 1) 地形変更及び施設の存在 a. 反射光の予測 イ) 予測地点	12. 1. 3-50(578)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
ウ) 予測対象時期	12. 1. 3-51(579)	「表 12. 1. 3-5 予測ケースの太陽位置(高度、方位)」について、予測対象とした日付、時刻、太陽高度、太陽方位の記載に誤りがあったため修正した。	より適切な記載とした。
エ) 予測手法 a) 太陽光パネルの設置条件	12. 1. 3-53(581)	水平な地盤に対する太陽光パネルの角度が10°以下になることを追記した。	より適切な記載とした。
	12. 1. 3-54(582)	太陽光パネル設置範囲を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
オ) 予測結果	12. 1. 3-55(583)～ 12. 1. 3-69(597)	事業計画の見直しに伴い、予測結果を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)、岡山県知事意見を踏まえて修正した。
		残置森林等の樹林による遮蔽効果を考慮した予測結果に修正した。	岡山県知事意見を踏まえて修正した。
b. 評価 ウ) 評価結果	12. 1. 3-70(598)	事業計画の見直しに伴い、評価結果を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)、岡山県知事意見を踏まえて修正した。
		残置森林等の樹林による遮蔽効果を考慮した評価結果に修正した。	岡山県知事意見を踏まえて修正した。
12. 1. 4 動物(重要な種及び注目すべき生息地) (1) 調査結果の概要 (a) 動物相の状況 ②現地調査 1) 哺乳類の状況 b. 調査地点	12. 1. 4-4(602)～ 12. 1. 4-8(606)	図面の変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。

表 15-1 (10) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
2) 鳥類の状況 b. 調査地点	12. 1. 4-20 (618) ~ 12. 1. 4-24 (622)	図面の改変区域を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	12. 1. 4-24 (622) ~ 12. 1. 4-25 (623)	希少猛禽類調査について、調査地点ごとの地上視野と視野範囲が分かる図面を提示した。	より適切な記載とした。
3) 鳥類の状況 e. 調査結果 f) 希少猛禽類調査 (営巣確認調査)	12. 1. 4-41 (639)	図面の改変区域を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
3) 爬虫類の状況 b. 調査地点	12. 1. 4-43 (641)		
4) 両生類の状況 b. 調査地点	12. 1. 4-45 (643)		
5) 昆虫類の状況 b. 調査地点	12. 1. 4-48 (646) ~ 12. 1. 4-49 (647)		
6) 魚類の状況 b. 調査地点	12. 1. 4-53 (651)		
7) 底生動物相の状況 b. 調査地点	12. 1. 4-59 (657)		
(b) 重要な種の生息の状況及び生息環境の状況 ②現地調査 2) 調査結果	12. 1. 4-65 (663) ~ 12. 1. 4-66 (664) 12. 1. 4-68 (666) ~ 12. 1. 4-98 (696) 12. 1. 4-100 (698) ~ 12. 1. 4-103 (701) 12. 1. 4-106 (704) ~ 12. 1. 4-111 (709) 12. 1. 4-113 (711) 12. 1. 4-115 (713)	改変区域の変更に伴い、重要な種(哺乳類、鳥類、両生類、昆虫類)の確認状況及び図面の改変区域を修正した。	
	12. 1. 4-75 (673) ~ 12. 1. 4-98 (696)	希少猛禽類の飛翔図について、地上視野及び空中視野を追加した。	より適切な記載とした。
(2) 予測及び評価の結果 ①工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用の存在及び供用 1) 造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の存在 a. 予測 ウ) 予測手法	12. 1. 4-117 (715)	改変区域の変更に伴い、植生の改変面積及び改変率を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)、岡山県知事意見を踏まえて修正した。
エ) 予測結果 i. 哺乳類、ii. 鳥類、 iii. 爬虫類、iv. 両生類、 v. 昆虫類、vi. 魚類、 vii. 底生動物	12. 1. 4-119 (717) ~ 12. 1. 4-190 (788)	改変区域の変更に伴い、重要な種への影響予測結果の表中における、重要な種の確認状況、植生の改変面積及び改変率を修正した。	岡山県知事意見を踏まえて修正した。
エ) 予測結果 i. 哺乳類	12. 1. 4-124 (722)	コキクガシラコウモリについて、越冬場所である隧道跡及び周辺の樹林環境の直接改変を回避したことに基づく予測結果に修正した。	岡山県知事意見を踏まえて修正した。
エ) 予測結果 ii. 鳥類、iv. 両生類、 v. 昆虫類、vi. 魚類、 vii. 底生動物	12. 1. 4-127 (725) ~ 12. 1. 4-128 (726) 12. 1. 4-132 (730) 12. 1. 4-139 (737) 12. 1. 4-142 (740)	重要種の予測結果における、濁水の流入による生息環境の悪化について、供用後も濁水が水辺環境に流入する可能性があることを追記した。	より適切な記載とした。

表 15-1 (11) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
	12.1.4-154(752)～ 12.1.4-161(759) 12.1.4-163(761)～ 12.1.4-172(770) 12.1.4-175(773)～ 12.1.4-182(780) 12.1.4-186(784)～ 12.1.4-188(786) 12.1.4-190(788)		
㊦ 予測結果 iv. 両生類 v. 昆虫類 vii. 底生動物	12.1.4-155(753) 12.1.4-160(758) 12.1.4-167(765) 12.1.4-169(767)～ 12.1.4-170(768) 12.1.4-173(771) 12.1.4-175(773)～ 12.1.4-176(774) 12.1.4-178(776)～ 12.1.4-182(780) 12.1.4-190(788)	移設を行う重要な種について、環境創出した場所も移設先の候補とすることを追記した。	より適切な記載とした。
㊦ 予測結果 v. 昆虫類	12.1.4-168(766) 12.1.4-172(770) 12.1.4-174(772) 12.1.4-175(773)	アキアカネ、マルバネトビケラ、スジボソヤマキチョウ、コシロシタバ、ヒョウゴマルガタゴミムシの予測結果について、詳細な予測根拠を追記した。	より適切な記載とした。
	12.1.4-185(783)	ニッポンハナダカバチへの影響予測結果について、検討の過程を追記した。	より適切な記載とした。
b. 評価 i) 環境保全措置	12.1.4-191(789)	環境保全措置に、コキクガシラコウモリの越冬場所である隧道の保全を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
		環境保全措置に、環境創出した場所も動物の移設先の候補とすることを追記した。	より適切な記載とした。
	12.1.4-191(789)～ 12.1.4-192(790)	緑化対策を行う環境保全措置について、在来種による植栽等を検討することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
	12.1.4-192(790)	環境保全措置に、小動物が落下後に這い出し可能なU字溝を採用すること、フェンス下部の空間を開けることにより、小動物の移動経路を確保することを追記した。	より適切な記載とした。
12.1.5 植物(重要な種及び重要な群落) (1) 調査結果の概要 (a) 植物相及び植物群落の状況 ② 現地調査 1) 植物相の状況 b. 調査地点	12.1.5-2(792)	改変区域を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
2) 植生の状況 b. 調査地点	12.1.5-4(794)	ガマ・ヤマトミクリ群落を「ガマ・キンキカサスゲ群落等」と「ヤマトミクリ・ミクリ群落」に細分化した。	より適切な記載とした。

表 15-1 (12) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
	12.1.5-6(796)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
e. 調査結果	12.1.5-7(797)～ 12.1.5-8(798) 12.1.5-12(802) 12.1.5-16(806)～ 12.1.5-21(811)	ガマ・ヤマトミクリ群落を「ガマ・キンキカサスゲ群落等」と「ヤマトミクリ・ミクリ群落」に細分化した。	より適切な記載とした。
e. 調査結果	12.1.5-7(797)	調査範囲内の止水環境に存在する群落について、植生自然度の根拠を追記した。	より適切な記載とした。
	12.1.5-15(805)～ 12.1.5-16(806) 12.1.5-22(812)	植生自然度の区分基準、植生自然度一覧、植生自然度図を追加した。	より適切な記載とした。
	12.1.5-17(807)～ 12.1.5-22(812)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(b) 重要な種及び重要な群落の分布・生育の状況及び生育環境の状況	12.1.5-23(813)	重要な群落の選定基準について、「IX RDB 掲載種が優占する群落」を追記した。	より適切な記載とした。
②現地調査 2) 調査結果 a. 重要な種(植物)	12.1.5-25(815)～ 12.1.5-27(817)	変更区域の変更に伴い、重要な種(植物)の確認状況及び図面の変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
b. 重要な群落	12.1.5-28(818)～ 12.1.5-29(819)	重要な群落として、「ヤマトミクリ・ミクリ群落」を追加した。	より適切な記載とした。
	12.1.5-29(819)	変更区域を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(2) 予測及び評価の結果 ①工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用 1) 造成等の施工による一時的な影響、地形変更及び施設の存在 a. 予測 ウ) 予測手法	12.1.5-30(820)～ 12.1.5-31(821)	変更区域の変更に伴い、植物群落及び土地利用区分の変更率を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
エ) 予測結果 i. 重要な種(植物)	12.1.5-33(823)	ナツアサドリについて、生育環境の直接変更を回避したことに基づく予測結果に修正した。	経済産業大臣勧告、岡山県知事意見を踏まえて修正した。
	12.1.5-33(823) 12.1.5-37(827)	変更区域の変更に伴い、ナツアサドリ及びキンランへの影響予測における、確認状況及び予測結果を修正した。	事業計画の見直し(変更区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	12.1.5-35(825)	ヤマトミクリについて、代償措置として環境創出及び移植を実施することを追記した。	経済産業大臣勧告、岡山県知事意見を踏まえて追記した。
	12.1.5-36(826)～ 12.1.5-37(827)	ダイゼンスゲとキンランの影響予測結果を詳細に記述した。	より適切な記載とした。
ii. 重要な群落	12.1.5-39(829)～ 12.1.5-40(830)	「ヤマトミクリ・ミクリ群落」の予測結果を追記した。	より適切な記載とした。
b. 評価 イ) 環境保全措置	12.1.5-41(831)	環境保全措置に、計画上やむを得ない場合には、環境創出及び移植を行うことを追記した。	経済産業大臣勧告、岡山県知事意見を踏まえて追記した。

表 15-1 (13) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
		環境保全措置に、ナツアサドリの生育環境の直接改変を回避したことを追記した。	経済産業大臣勧告、岡山県知事意見を踏まえて追記した。
		緑化対策を行う環境保全措置について、在来種による植栽等を検討することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
り) 評価結果	12. 1. 5-42 (832)	「ヤマトミクリ・ミクリ群落」の評価結果を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
12. 1. 6 生態系 (地域を特徴づける生態系) (1) 地域を特徴づける生態系 (a) 調査結果の概要 ① 動植物その他の自然環境に係る概況 2) 現地調査結果 b. 調査結果 イ) 地域の生態系の概要	12. 1. 6-5 (837)	ガマ・ヤマトミクリ群落を「ガマ・キンキカサスゲ群落等」と「ヤマトミクリ・ミクリ群落」に細分化した。	より適切な記載とした。
	12. 1. 6-6 (838)	改変区域を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
② 複数の注目種及び群集の生態、他の動植物との関係又は生息環境若しくは生育環境の状況 1) 注目種の選定 b. 典型性の注目種及び群集	12. 1. 6-11 (843) ~ 12. 1. 6-12 (844)	典型性の注目種について、ホオジロを非選定とした理由の詳細を追記した。	より適切な記載とした。
2) 上位性注目種 (サンバ) に係る調査結果の概要 c. 現地調査 ウ) 調査地点	12. 1. 6-17 (849)	改変区域を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
キ) 調査結果 i. 生息状況調査 (定点観察)	12. 1. 6-22 (854) ~ 12. 1. 6-24 (856)	サンバの確認位置について、地上視野及び空中視野を追記した。	より適切な記載とした。
	12. 1. 6-22 (854) ~ 12. 1. 6-26 (858)	改変区域を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	12. 1. 6-26 (858)	サンバの営巣中心域を修正した。	より適切な記載とした。
iii. 餌資源量調査	12. 1. 6-29 (861)	爬虫類及び両生類の調査地点毎の確認個体数について、調査回別の確認個体数を追記した。	より適切な記載とした。
	12. 1. 6-30 (862)	各踏査ルートにおける環境類型区分の調査面積を追記した。	より適切な記載とした。
3) 典型性注目種 (シジュウカラ) に係る調査結果の概要 c. 現地調査 ウ) 調査地点 キ) 調査結果 ク) 解析結果	12. 1. 6-42 (874)	改変区域を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(b) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施、土地又は工作物の存在及び供用 1) 造成等の施工による一時的な影響、地形改変及び施設の存在、施設の稼働 a. 予測 エ) 予測結果	12. 1. 6-53 (885)	サンバの繁殖期における営巣中心域に隣接する工区での工事を回避することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
	12. 1. 6-53 (885) 12. 1. 6-55 (887) ~ 12. 1. 6-56 (888) 12. 1. 6-58 (890) ~ 12. 1. 6-59 (891)	改変区域の変更に伴い、各予測項目における改変面積、改変率、減少率を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。

表 15-1 (14) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
i. サシバ	12.1.6-54(886) 12.1.6-57(889)	改変区域を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
ii. シジュウカラ	12.1.6-60(892)～ 12.1.6-61(893)	改変区域の変更に伴い、事業実施前後のテリトリー面積の変化及び餌資源量の変化について、予測結果を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
b. 評価 イ) 環境保全措置	12.1.6-62(894)	環境保全措置に、詳細設計にあたっては、地形や既存道路等を十分考慮し、改変面積のさらなる縮小化に努めたことを追記した。	より適切な記載とした。
		緑化対策を行う環境保全措置について、在来種による植栽等を検討することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
		環境保全措置に、サシバの繁殖期における営巣中心域に隣接する工区での工事を回避することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
12.1.7 景観 (1) 主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観 (a) 調査結果の概要	12.1.7-2(898) 12.1.7-4(900) 12.1.7-6(902)	改変区域を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(b) 予測及び評価の結果 ① 土地又は工作物の存在及び供用 1) 地形改変及び施設の存在 b. 評価 イ) 環境保全措置	12.1.7-28(924)	緑化対策を行う環境保全措置について、在来種による植栽等を検討することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
12.1.8 人と自然との触れ合いの活動の場 (1) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場 (a) 調査結果の概要 ① 人と自然との触れ合いの活動の場の状況 1) 文献その他の資料調査 d. 調査結果	12.1.8-2(928)	改変区域を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
(b) 予測及び評価の結果 ② 土地又は工作物の存在及び供用 1) 地形改変及び施設の存在 a. 予測の結果 ウ) 予測結果	12.1.8-18(944)～ 12.1.8-28(954)	人と自然との触れ合いの活動の場の項目においても、騒音、反射光、景観の項目を予測対象として追記した。	より適切な記載とした。
	12.1.8-18(944)～ 12.1.8-20(946)	予測地点から最も近い騒音発生設備までの距離を追記した。	より適切な記載とした。
b. 評価 イ) 環境保全措置	12.1.8-29(955)	反射光及び景観に係る環境保全措置を追記した。	より適切な記載とした。
12.1.9 廃棄物等 (1) 産業廃棄物 (a) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施 1) 造成等の施工による一時的な影響 ウ) 予測手法	12.1.9-1(957)～ 12.1.9-2(958)	事業計画の見直しに伴い、伐採面積、パネル枚数、廃棄物の発生量を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	12.1.9-2(958)	クラブハウス撤去物とゴルフ場カート道撤去物について、廃棄物の発生量の計算方法を追記した。	より適切な記載とした。
エ) 予測結果	12.1.9-3(959)	廃棄物の発生量及び有効利用量を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。

表 15-1 (15) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
		工事の実施に伴って発生する廃棄物について、処理方法等の詳細を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
		廃棄物の処理方法について、中間処理等を行うものは「再生利用」と記載した。	より適切な記載とした。
		クラブハウス撤去物とゴルフ場カート道撤去物の予測結果を追記した。	より適切な記載とした。
2) 地形改変及び施設の存在に係る産業廃棄物 a. 予測 ㇿ 予測結果	12. 1. 9-5 (961) ~ 12. 1. 9-6 (962)	施設の撤去に伴い発生する主な廃棄物等について、処理方法等の詳細を追記した。	経済産業大臣勧告、岡山県知事意見を踏まえて追記した。
		太陽光パネルやその他の機器類について、有価物として取り扱い扱えないものは産業廃棄物として搬出して再生利用を図り、再生利用ができないものは適正に処理・処分することを追記した。	より適切な記載とした。
	12. 1. 9-6 (962)	廃棄物の排出量を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
b. 評価 ㊦ 環境保全措置	12. 1. 9-7 (963)	太陽光パネル等の撤去・廃棄に伴う廃棄物について、再利用及び再資源化の促進を図ることを追記した。	より適切な記載とした。
(2) 残土 (a) 予測及び評価の結果 ① 工事の実施 1) 造成等の施工による一時的な影響 a. 予測 ㇿ 予測結果	12. 1. 9-8 (964)	工事に伴い発生する土量及び排水路設置に伴う掘削土の発生量を修正した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて修正した。
	12. 1. 9-9 (965)		
12.2 環境の保全のための措置 12.2.2 環境保全措置の検討の過程及び結果 (1) 太陽光パネルの配置計画及び対象事業実施区域の検討経緯 (b) 評価書段階における検討経緯	12. 2-6 (972) ~ 12. 2-9 (975)	評価書段階における太陽光パネル設置計画等の検討経緯を追記した。	事業計画の見直し(改変区域のさらなる縮小)を踏まえて追記した。
	12. 2-6 (972) 12. 2-8 (974) 12. 2-9 (975)	コキクガシラコウモリの越冬場所である隧道の保全を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
	12. 2-10 (976) ~ 12. 2-12 (978)	緑化対策を行う環境保全措置について、在来種による植栽等を検討することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
(c) 動物	12. 2-11 (977)	環境保全措置に、コキクガシラコウモリの越冬場所である隧道の保全を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
(d) 植物	12. 2-11 (977)	環境保全措置に、計画上やむを得ない場合には、環境創出及び移植を行うことを追記した。	経済産業大臣勧告、岡山県知事意見を踏まえて追記した。
		環境保全措置に、ナツアサドリの生育環境の直接改変を回避したことを追記した。	経済産業大臣勧告、岡山県知事意見を踏まえて追記した。

表 15-1 (16) 準備書記載事項の修正の概要

項目	評価書記載頁	修正内容	修正の理由
(e)生態系	12. 2-12(978)	環境保全措置に、詳細設計にあたっては、地形や既存道路等を十分考慮し、改変面積のさらなる縮小化に努めたことを追記した。	より適切な記載とした。
		環境保全措置に、サシバの繁殖期における営巣中心域に隣接する工区での工事を回避することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
(3)地形改変及び施設の存在における環境保全措置の検討 (c)地盤、(e)動物、(f)植物、 (g)生態系、(h)景観	12. 2-13(979)～ 12. 2-15(981)	緑化対策を行う環境保全措置について、在来種による植栽等を検討することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
(e)動物	12. 2-13(979)	環境保全措置に、環境創出した場所も動物の移設先の候補とすることを追記した。	より適切な記載とした。
		環境保全措置に、小動物が落下後に這い出し可能なU字溝を採用すること、フェンス下部の空間を開けることにより、小動物の移動経路を確保することを追記した。	より適切な記載とした。
(g)生態系	12. 2-14(980)	環境保全措置に、詳細設計にあたっては、地形や既存道路等を十分考慮し、改変面積のさらなる縮小化に努めたことを追記した。	より適切な記載とした。
		環境保全措置に、サシバの繁殖期における営巣中心域に隣接する工区での工事を回避することを追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
(i)人と自然との触れ合いの活動の場	12. 2-15(981)	反射光及び景観に係る環境保全措置を追記した。	より適切な記載とした。
(j)廃棄物等（産業廃棄物）	12. 2-15(981)	太陽光パネル等の撤去・廃棄に伴う廃棄物について、再利用及び再資源化の促進を図ることを追記した。	より適切な記載とした。
(4)動物の移設及び植物の移植の検討	12. 2-16(982)～ 12. 2-25(991)	動物の移設及び植物の移植の検討内容を追記した。	経済産業大臣勧告、岡山県知事意見を踏まえて追記した。
12. 3 事後調査 12. 3. 3 環境監視計画	12. 3-8(1014)	環境監視計画の項目を追加し、調整池の各排水口における浮遊物質濃度のモニタリング調査について、モニタリング頻度及び実施期間を追記した。	岡山県知事意見を踏まえて追記した。
12. 4 環境影響の総合的な評価	12. 4-2(1016)～ 12. 4-18(1032)	「12.1 調査の結果の概要並びに予測及び評価の結果」の記載事項を反映した。	より適切な記載とした。
第13章 環境影響評価準備書についての意見と事業者の見解	13-1(1033)～ 13-11(1043)	準備書に対する環境保全の見地からの意見の概要及び事業者の見解、岡山県知事意見及び事業者の見解を追加した。	より適切な記載とした。
第14章 準備書に対する経済産業大臣の勧告	14-1(1045)～ 14-4(1048)	準備書に対する経済産業大臣の勧告及び事業者の見解を追加した。	より適切な記載とした。